



2016年度 エコアクション21 環境活動レポート

【期間：2016年4月～2017年3月】



PHOTO: 2016年12月竣工 新金岡店



PHOTO: 2016年12月竣工 鳳BPセンター

株式会社 **関西マツダ**
発行日 2017年5月20日

- 1 《目次》
- 2 《組織の概要》
- 3 《実施体制》
- 4 《店舗一覧表》
- 5 《環境方針》
- 6~7 《環境目標》
- 8~9 《環境活動計画》
- 10~16 《環境活動計画の取組結果と評価及び次年度の取組》
- 17 《主な環境関連法規の違反・訴訟の有無》
- 18 《代表者による全体評価と見直しの結果》



(株)関西マツダ 組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社関西マツダ

代表取締役 東堂一義

※2017年3月現在

2. 所在地

大阪府大阪市浪速区桜川1丁目3番25号

3. 事業内容

新車販売

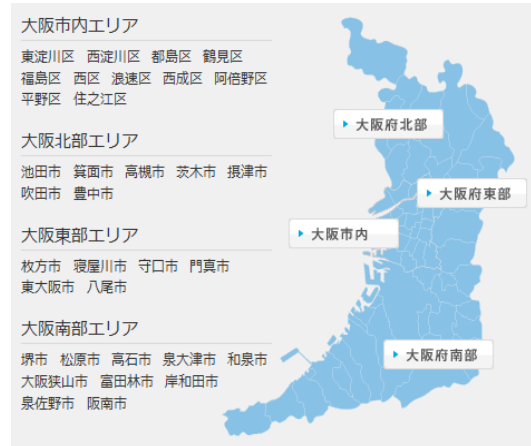
中古車販売

自動車の整備

自動車賃貸業(レンタカー事業)

各種自動車部品及び用品販売

自動車保険等の損害保険代理店業務、生命保険の募集に関する業務



4. 事業規模

- ① 店舗数 大阪府下53店舗(中古車・BPセンター・レンタカー店舗含む)(2017年3月1日現在)
- ② 従業員数 1,069名 (2017年3月1日現在)
- ③ 年間売上高 341億1880万円 (2017年3月期実績)
- ④ 年間新車売上台数 10,520台 (2017年3月期実績)
- ⑤ 年間サービス売上高 62億4054万円 (2017年3月期実績)
- ⑥ 認証登録店舗(2017年3月現在)53店舗
- ⑦ 対象店舗 ※下記

5. 対象組織 全組織とする(※2017年3月1日現在以下53店舗)

	本社
--	----

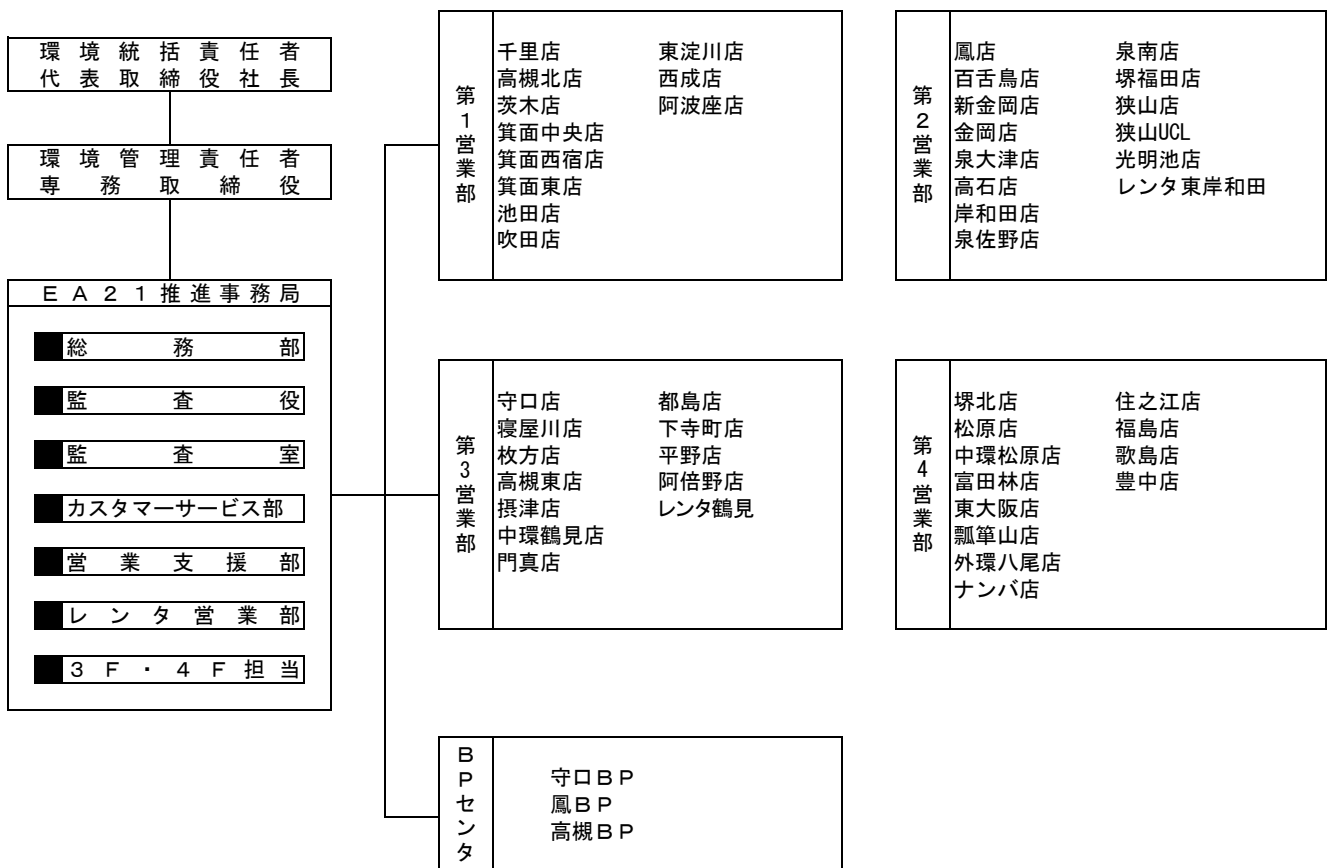
第1営業部	千里店
	高槻北店
	茨木店
	箕面中央店
	箕面西宿店
	箕面東店
	池田店
	吹田店
	東淀川店
	西成店
阿波座店	

第3営業部	守口店
	寝屋川店
	枚方店
	高槻東店
	摂津店
	中環鶴見店
	門真店
	都島店
	下寺町店
	平野店
阿倍野店 ※2017.3月末閉鎖	
レンタ鶴見	

BP	守口BP
	鳳BP
	高槻BP ※2017.3月末閉鎖

第2営業部	鳳店
	百舌鳥店
	金岡店 ※2016.12月末閉鎖
	泉大津店
	高石店
	岸和田店
	泉佐野店
	泉南店
	堺福田店 ※2017.5閉鎖
	狭山店
	狭山UCL
	光明池店
	新金岡店
レンタ東岸和田	

第4営業部	富田林店
	松原店
	中環松原店
	堺北店
	住之江店
	ナンバ店
	福島店
	歌島店
	豊中店
	東大阪店
	瓢箪山店
	外環八尾店



<役割>

環境統括責任者	<p>環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認 	
環境管理責任者	<p>実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する</p> <p>※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動レポートの確認 	
E A 2 1 推進事務局	総務部	<p>環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全体的な環境取組を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の環境取り組みの指導・支援 ・環境データの集計・取りまとめ
	監査室 カスタマーサービス部 営業部	<p>環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特にサービス工場領域に関する環境取組を推進する</p>
	3 F ・ 4 F 担当者	<p>環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として特に本社領域に関する環境取組を推進する</p>
店舗環境管理責任者 正：店長 副：サービスM g r	<p>店舗での環境取組を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店長は店舗の環境取り組み全体の責任者として、推進・管理を行う ・サービスマネージャーはサービス工場領域の責任者となり店長をサポートする 	

(株)関西マツダ 店舗一覧表

(2017.3月現在)

	店舗名	中古車併設	〒	住所	電話	FAX
本社	EA21環境推進事務局		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8000	06-6561-8019
第1営業部	千里店	○	565-0874	吹田市 古江台 6-1-3	06-6871-1021	06-6871-1026
	高槻北店	○	569-1135	高槻市 今城町 18-6	072-683-0101	072-683-0105
	茨木店	○	567-0041	茨木市 下穂積 1-8-10	072-622-6741	072-622-6744
	箕面中央店	○	562-0004	箕面市 牧落 5-5-18	072-722-0843	072-722-0991
	箕面西宿店		562-0034	箕面市 西宿 1-5-14	072-729-1135	072-729-2879
	箕面東店	○	562-0004	箕面市 牧落 3-19-30	072-723-8988	072-723-8990
	池田店		563-0025	池田市 城南 3-6-4	072-752-0521	072-752-0524
	吹田店		564-0041	吹田市 泉町 3-19-12	06-6338-1561	06-6338-1639
	東淀川店	○	533-0013	大阪市 東淀川区 豊里 7-32-5	06-6326-6371	06-6326-6387
	西成店		557-0041	大阪市 西成区 岸里 2-3-26	06-6659-5561	06-6659-5566
	阿波座店		550-0006	大阪市 西区 江之子島 1-9-15	06-6443-8391	06-6443-6134
第2営業部	鳳店	○	593-8328	堺市 西区 鳳北町 9-507	072-262-1441	072-262-1444
	百舌鳥店		591-8033	堺市 北区 百舌鳥西之町 3-517	072-258-1251	072-258-1253
	新金岡店		591-8025	堺市 北区 長曾根町 1547-1	072-259-5001	072-259-5934
	金岡店		591-8011	堺市 北区 南花田町273-1	072-251-7731	072-251-7742
	泉大津店	※サービス工場のみ	595-0031	泉大津市 我孫子 117-1	0725-21-3181	0725-21-3185
	高石店		592-0012	高石市 西取石 5-2-30	072-262-0120	072-262-0229
	岸和田店		596-0823	岸和田市 下松町 1-1-6	072-439-5621	072-439-5624
	泉佐野店	○	598-0033	泉佐野市 南中安松 1430	072-466-0451	072-466-0588
	泉南店		599-0203	阪南市 黒田 328-1	072-473-3288	072-473-3291
	堺福田店		599-8242	堺市 中区 陶器北 1696-1	072-235-2461	072-235-0157
	狭山店		589-0013	大阪狭山市 ぐみの木 6-1049-1	072-367-1851	072-367-1856
	狭山UCL	※中古車専売店	589-0013	大阪狭山市 東ぐみの木 4-1343-1	072-368-1562	072-368-1563
	光明池店	○	594-0031	和泉市 伏屋町 4-10-25	0725-50-5566	0725-50-4141
レンタ東岸和田		596-0825	岸和田市 土生町 4169	072-433-8080	072-433-8081	
第3営業部	守口店	○	570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1152	06-6909-6663
	寝屋川店		572-0028	寝屋川市 日新町 21-17	072-831-4521	072-831-4527
	枚方店	○	573-1162	枚方市 甲斐田新町 2-4	072-847-8621	072-847-8641
	高槻東店	○	569-0036	高槻市 辻子 3-8-1	072-672-1000	072-672-1005
	摂津店		566-0062	摂津市 鳥飼上 2-5-13	072-654-3601	072-654-3605
	中環鶴見店	○	538-0032	大阪市 鶴見区 安田 2-5-19	06-6912-0241	06-6912-0830
	門真店	○	571-0039	門真市 速見町 14-31	06-6909-0456	06-6909-2292
	都島店		534-0011	大阪市 都島区 高倉町 2-8-1	06-6922-3871	06-6922-3875
	下寺町店		556-0001	大阪市 浪速区 下寺 1-6-5	06-6633-7831	06-6633-7835
	平野店		547-0035	大阪市 平野区 西脇 1-1-6	06-6702-7221	06-6702-3388
	阿倍野店		545-0011	大阪市 阿倍野区 昭和町 4-4-28	06-6628-7001	06-6628-7005
レンタ鶴見		538-0053	大阪市 鶴見区 鶴見 6-1-5	06-6935-6522	06-6933-5354	
第4営業部	堺北店	○	590-0985	堺市 堺区 戎島町 4-31	072-238-5571	072-238-5598
	松原店		580-0045	松原市 三宅西 3-250-1	072-335-7551	072-335-2708
	中環松原店		580-0014	松原市 岡 6-3-27	072-334-1621	072-334-1626
	富田林店		584-0092	富田林市 昭和町 2-1748-7	0721-26-2432	0721-26-2890
	東大阪店	○	577-0016	東大阪市 長田西 4-4-28	06-6744-1651	06-6744-1656
	瓢箪山店	○	579-8066	東大阪市 下六万寺町 3-8-5	072-987-7365	072-987-7383
	外環八尾店	○	581-0034	八尾市 弓削町 南 2-135	072-949-0909	072-949-9501
	ナンバ店		556-0022	大阪市 浪速区 桜川 1-3-25	06-6568-8051	06-6568-6039
	住之江店	○	559-0024	大阪市 住之江区 新北島 1-6-10	06-6685-8521	06-6685-8525
	福島店		553-0006	大阪市 福島区 吉野 5-5-30	06-6461-2851	06-6461-2855
	歌島店		555-0024	大阪市 西淀川区 野里 3-1-4	06-6473-1534	06-6473-1538
豊中店	○	561-0836	豊中市 庄内宝町 2-7-13	06-6335-2020	06-6331-2100	
B P	高槻BPセンター		569-0844	高槻市 柱本 6-446-9	072-678-5770	072-678-5877
	守口BPセンター		570-0021	守口市 八雲東町 2-78-33	06-6909-1288	06-6904-4811
	鳳BPセンター		593-8328	堺市 西区 鳳北町 9-494	072-262-1664	072-266-0530

環 境 方 針

<基本理念>

株式会社関西マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において、全従業員一人一人が環境保全活動に取り組み、地球環境の保護と未来への豊かな社会づくりに貢献する事を誓います。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 環境負荷の低減を図り、省資源・省エネルギーに努めます。
そのため、電気・水道・ガソリン等の省エネルギー活動の推進及びグリーン購入の推進を致します。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進致します。
また、化学物質使用量の削減に向け塗料の水性化を模索します
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再生利用を推進致します。
5. 当社の事業活動の自動車販売・整備においてお客様に自動車の環境情報を積極的に提供し、スカイアクティブ車及びエコタイヤの拡販を推進し環境活動の推進に努めます。
6. 環境改善目標を定め、継続的かつ具体的な環境改善活動を実践致します。
7. 全従業員に、この環境方針を周知徹底するとともに、自社のホームページにも掲載し、社会に公表いたします。



平成27年 10月 1日

株式会社関西マツダ
代表取締役社長

東堂 一義

(株)関西マツダ 環境目標

1. 環境負荷の現状 ※全拠点

項目	単位	基準実績				
		2013年度 '13年4月～'14年3月	2014年度 '14年4月～'15年3月	2015年度 '15年4月～'16年3月	2016年度 '16年4月～'17年3月	
二酸化炭素排出量 ※	kg-CO ₂	4,347,734	4,107,072	4,050,392	3,710,807	
電力使用量	kWh	6,179,784	5,840,297	5,739,044	5,330,525	
化石燃料	ガソリン使用量	L	359,589	317,607	282,148	241,782
	軽油使用量	L	66,270	80,544	109,346	106,656
	都市ガス使用量	m ³	32,967	32,545	40,712	44,265
	LPG使用量	m ³	8,754	8,595	6,195	187
	灯油使用量	L	15,514	13,473	13,396	14,121
廃棄物	一般廃棄物	kg	167,973	152,418	124,522	121,146
	産業廃棄物	kg	522,105	521,329	557,940	562,565
水使用量	m ³	45,869	44,411	43,136	41,621	
コピー用紙の使用量	kg	30,540	29,819	28,999	25,996	

※1 排出係数は2012年度関西電力の係数(0.514k-CO₂kWh)を使用した。



2. 環境目標

項目	単位	2013年度実績 (目標となる基準)	目標			
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,347,734	4,304,257	4,260,779	4,217,302	4,173,825
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
電力使用量	kWh	6,179,784	6,117,986	6,056,188	5,994,390	5,932,593
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
化石燃料	ガソリン使用量	359,589	355,993	352,397	348,801	345,205
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
	軽油使用量	66,270	65,607	64,945	64,282	63,619
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
	都市ガス使用量	32,967	32,637	32,308	31,978	31,648
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
LPG使用量	8,754	8,666	8,579	8,491	8,404	
	(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
灯油使用量	15,514	15,359	15,204	15,049	14,893	
	(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%	
一般廃棄物排出量	kg	167,973	166,293	164,614	162,934	161,254
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
産業廃棄物排出量	kg	522,105	516,884	511,663	506,442	501,221
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
水使用量	m ³	45,869	45,410	44,952	44,493	44,034
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%
コピー用紙の使用量	kg	30,540	30,235	29,929	29,624	29,318
		(削減率)対2013年度比	△1%	△2%	△3%	△4%

		目標				
		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
グリーン購入	購入品目構成比	社員への浸透及び促進	環境商品購入の数値化	環境商品の購入比率 対前年以上		
本業における環境配慮	台	スカイアクティブ搭載車の拡販 前年比100%以上				
エコタイヤ販売	本	前年比 100%以上				

(株)関西マツダ 環境目標 (化学物質取扱量)

化学物質取扱量

1. 環境負荷の現状 ※下記は高槻BP、守口BP、鳳BP(板金塗装工場)の合計数値

化学物質の種類	単位	2013年度実績	2014年度実績	2015年度実績	2016年度実績
エチルベンゼン	kg	72.2	57.9	10.7	12.1
トルエン	kg	719.0	595.8	359.8	337.6
キシレン	kg	375.0	308.4	56.8	64.9
1.3.5-トリメチルベンゼン	kg	51.0	48.9	27.0	26.7
スチレン	kg	28.5	2.6	0.7	8.1
ノルマルーヘキサン	kg	128.0	76.0	0.2	5.1
ナフタレン	kg	4.8	3.4	4.8	5.5
4-メチル-2-ペンタノン	kg	1,508.6	96.6	237.3	20.9
シクロヘキサノン	kg	1.7	2.5	1.6	2.2
1.2.4-トリメチルベンゼン	kg	100.8	111.4	38.5	11.7
酢酸ブチル	kg	3,649.5	3,911.5	2,841.8	3,743.3
メタノール	kg	79.2	137.2	70.3	54.8
1-ブタノール	kg	0.9	0.0	0.0	0.0
メチルエチルケトン	kg	10.8	21.3	0.3	15.1

2. 環境目標 ※BPセンター(板金塗装工場)

化学物質の適正な取扱い処理を把握し削減に努めます

取り組み内容

1.環境教育・訓練を実施する。 EA活動の促進及び意識向上・教育（PDCAの実践）

- ①環境に関するミーティング(エコアクション21活動ミーティング)を月1回以上開催して
拠点メンバーで取組みに関する反省や今後の取組みを話し合い、ミーティングシートに記録する。
- ②緊急時を想定しての緊急対応訓練を年に最低1回は実施する。
- ③推進事務局から定期的に提供される「ワンポイントレッスン」を活用して「環境教育訓練」を実施し「環境教育訓練記録簿」に記録する。

2. 二酸化炭素排出量の削減

- 1)電力使用量の削減
 - ①メジャーサインの点灯時間の管理
 - ②ショールームの消灯時間の順守
 - ③不要な照明の消灯の確認
 - ④昼休み、退社時の工場の消灯
 - ⑤自動販売機の照明の消灯
 - ⑥エアコンの温度設定の確認・退社時の電源OFF
 - ⑦エアコンフィルターの定期的な清掃
 - ⑧エアコンプレッサーの退社時電源OFF
 - ⑨退社時や長時間離席時のOA機器の電源OFF
 - ⑩エコアクション21実績表を基に電気使用量を把握する

3. 自動車燃料の削減

- ①エコドライブの啓発(エコドライブ10のすすめ)
- ②タイヤの空気圧・不要な荷物チェック
- ③サービスマスターなどへのエコオイルの使用

4. 廃棄物の削減

- ①一般廃棄物の削減
- ②コピー用紙使用量の削減
- ③産業廃棄物の適正処理の徹底
- ④廃油・廃バッテリーは有価物として処理する

5.水使用量の削減

- ①水道使用量の確認
- ②節水の掲示を各蛇口周辺に貼る
- ③洗車用ホースにストップノズルを取り付ける

(株)関西マツダ 環境活動計画 (2)

取組内容

6. 紙(コピー用紙)使用量の削減

- ①両面コピーを促進する
- ②電子化を促進し紙ベースでの保存を減らす

7. 化学物質の取扱い

- ①化学物質の取り扱い量の把握及び削減に努める
※水性塗料導入の検討

8. グリーン購入

- ①エコマーク商品の購入検討
- ②環境商品購入の数値化
- ③省エネ空調機、LED照明機器の導入

9. 本業における環境配慮

- ①スカイアクティブ搭載車両の拡販
- ②エコタイヤ(低燃費タイヤ)の拡販

10. ライトダウンキャンペーン2016(2016年6月21日・7月7日)への参加

- ①夏至の日の6月21日に20:00以降は屋外照明を消灯
- ②七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明を消灯

11. フロン排出抑制法の対応

- ①7.5kw未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)
- ②7.5kw以上の50kw未満の業務用エアコンは業者による定期点検の実施(3年/1回)

(株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (1)

1. 環境負荷数値の実績

項目	単位	2013年度	2016年度				
		(基準実績)	目標値	実績	削減率(A)	削減率(B)	
二酸化炭素排出量 ※1	kg-CO2	4,347,734	4,217,302	3,710,807	12%	15%	
電力使用量	kWh	6,179,784	5,994,390	5,330,525	11%	14%	
化石燃料使用量	ガソリン・軽油合計	L	425,859	413,083	348,438	16%	18%
	ガソリン使用量	L	359,589	348,801	241,782	31%	33%
	軽油使用量	L	66,270	64,282	106,656	※2	※2
	都市ガス・LPG合計	m ³	41,721	40,469	44,452	※2	※2
	都市ガス使用量	m ³	32,967	31,978	44,265	※2	※2
	LPG使用量	m ³	8,754	8,491	187	98%	98%
灯油使用量	L	15,514	15,049	14,121	6%	9%	
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	167,973	162,934	121,146	26%	28%
	産業廃棄物排出量	kg	522,105	506,442	562,565	※2	※2
	水使用量	m ³	45,869	44,493	41,621	6%	9%
	コピー用紙使用量	Kg	30,540	29,624	25,996	12%	15%

※1 電力使用量のCO2排出係数は、0.514を適用

※2 増加

※削減率(A)...目標値に対する削減率

※削減率(B)...2013年実績数値に対する削減率

2. 環境商品(スカイアクティブ搭載車両)の販売実績

2016年度新車売上台数(直売)	7,702 台
内)スカイアクティブ搭載車両(直売)	5,824 台
スカイ搭載車両販売比率(直売)	75.6 %



※2016年度新車直売台数の4分の3以上がスカイアクティブ搭載車両を販売することができている。

3. 環境商品(エコタイヤ / 低燃費タイヤ)の販売実績

※下記の4メーカー40種類のエコタイヤ(低燃費タイヤ)を取扱いしました。

タイヤ販売数 30,464本中、エコタイヤ販売 19,468本 販売比率 63.9%

参考)2015年度実績 タイヤ販売数 32,439本中、エコタイヤ販売 16,313本 販売比率 50.2%

〈ブリヂストン〉エコタイヤ		〈ダンロップ〉エコタイヤ		〈トーヨー〉エコタイヤ		〈ヨコハマ〉エコタイヤ	
REGNO GR-XI		エナセーブ EC203		ナノエナジー3		BluEarth AE01	
REGNO GRV2		エナセーブ E C 202		ナノエナジー3プラス		BluEarth AE01F	
REGNO LEDDERA		ルマン L M704		プロクセスCISA		BluEarth AE50	
ECOPIA EP150		ルマン L M5		プロクセスCF2		BluEarth RV01	
ECOPIA NH100		エナセーブ RV504		プロクセスCF2S		BluEarth ES31	
ECOPIA NH100C		ビューロ VE303		トランパスLU2		BluEarth RV02	
ECOPIA NH100RV				トランパスLUJK		ADVAN dB V551	
ECOPIA PZ-X				トランパスML		ADVAN dB V701	
ECOPIA PZ-XC				トランパスMPZ			
ECOPIA EX20C TYPEH							
その他							
合計	5,438	合計	8,989	合計	4,085	合計	956

4. 環境活動計画の取組結果とその評価

①二酸化炭素排出量

2016年度目標に対して	12%	削減
2013年度実績に対して	15%	削減

【要因】

下記、電力使用量の削減要因が大きな要因となり二酸化炭素の削減ができた

②電力使用量

2016年度目標に対して	11%	削減
2013年度実績に対して	14%	削減

【要因】

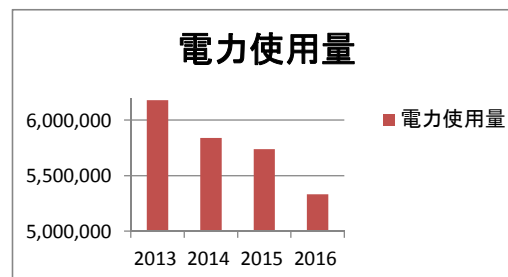
楠葉店及び金岡店の閉鎖、外環大和川店のリニューアル、平野店、新金岡店、鳳BPセンターの全面建替え工事期間及び建替え工事後の省エネ設備の導入によるものが大きな要因
また、2016年8月には本社ビル3階・4階フロア事務所照明及び廊下及び階段の照明を全てLED化している

【2017年度】

松原店、池田店の全面建替えによって省エネ設備を導入し、老朽化した空調機等故障した場合には省エネ設備を導入していく

〈過去4年の電力使用量の推移〉

年度	電力使用量
2016年	5,330,525Kwh
2015年	5,739,044Kwh
2014年	5,840,297Kwh
2013年	6,179,784Kwh



③化石燃料使用量の削減

A ガソリン使用量

2016年度目標に対して	31%	削減
2013年度実績に対して	33%	削減

B 軽油使用量

2016年度目標に対して	66%	増加
2013年度実績に対して	61%	増加

C 都市ガス使用量

2016年度目標に対して	38%	増加
2013年度実績に対して	34%	増加

D LPG使用量

2016年度目標に対して	98%	削減
2013年度実績に対して	98%	削減

E 灯油使用量

2016年度目標に対して	6%	削減
2013年度実績に対して	9%	削減

【要因】

塗装ブースの燃料をLPGとしていた摂津BPセンターがH28年1月閉鎖後、LPGの使用量は激減し会社全体でもわずかな使用量となっている。都市ガスの使用量は、摂津BPセンターの仕事量が都市ガスをブースの燃料にしている守口BPセンターに移行したため都市ガスの使用量が増加している

【2017年度】

・新車売上台数は2013年度と比較して30%減となっているためガソリン使用量はその分削減されているがクリーンディーゼル販売比率が2013年度と比べて増加しているのが軽油使用量の増加要因

(株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (3)

④水使用量

2016年度目標に対して	6%	削減
2013年度実績に対して	9%	削減

【要因】

楠葉店、金岡店の閉鎖が要因と思われるがエコアクション活動の浸透も削減結果に繋がっている

⑤産業廃棄物の排出量の削減

2016年度目標に対して	11%	増加
2013年度実績に対して	8%	増加

【要因】

弁当ガラ、カップ麺の容器など、一般廃棄物で処分していたものを、産業廃棄物として処分することを徹底したことにより、産業廃棄物排出量が増加した。

【有価物としての処理数】

〈2016年度〉

廃バッテリー 152,181Kg 廃油 488,256Kg

※参考〈2015年度〉

廃バッテリー 152,460Kg 廃油 521,422Kg

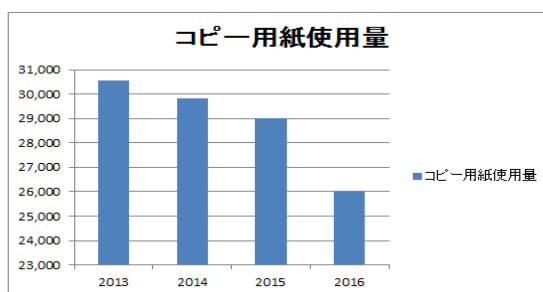
※〈参考〉2014年度

廃バッテリー 141,579Kg 廃油 537,910Kg

⑥コピー用紙使用量の削減

コピー用紙使用量

2016年度 25,996Kg
 2015年度 28,999Kg
 2014年度 29,819Kg
 2013年度 30,540Kg



⑦化学物質について

化学物質の適正な取扱い処理及び使用量の把握を引き続き実践していく。

⑧グリーン購入について

各拠点、コピー用紙については、GPN掲載商品を購入している。その他一般消耗品の購入時には詰替え商品の選択など拠点ごとに対応している。

【本部で掌握している一般消耗品の購入実績】

(購入実績)…2016年4月～2017年3月の期間 一般消耗品購入 587品目中225品目が
 グリーン購入対象商品でした。 購入比率 38.3% 2015年度…39.5%

※2016年8月には本社ビル3階・4階フロア事務所照明及び廊下及び階段の照明を全てLED化しグリーン購入している。

※2016年12月 新金岡店、鳳BPセンターを全面建替え完了し省エネ空調機、LED照明を導入している

※2017年2月 平野店を全面建替え完了し省エネ空調機、LED照明を導入している

※次ページ写真掲載

⑨ ライトダウンキャンペーン2016(2016年6月21日・7月7日)への参加

夏至の日の6月21日に20:00以降は屋外照明を消灯しました
 七夕の7月7日に20:00以降は屋外照明を消灯しました

(株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (4)

○本社4階事務所LED化状況



○本社4階事務所内ブースLED化状況



○本社廊下LED化状況



○本社3階事務所内ブースLED化状況



○本社3階事務所LED化状況



○本社3階4階エレベーターホールLED化状況



○本社3階4階階段LED化状況



(株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (5)

○新金岡店全面建替えによる省エネ空調機LED化状況

【LED照明及び省エネ空調機設置の新金岡店事務所】

【2016年12月竣工の新金岡店外観】



○鳳BPセンター全面建替えによる省エネ空調機LED化状況

【LED照明及び省エネ空調機設置の鳳BPセンター内】

【2016年12月竣工の鳳BPセンター外観】



○平野店全面建替えによる省エネ空調機LED化状況

【LED照明及び省エネ空調機設置の平野店ショールーム】

【2017年2月竣工の平野店外観(正面)】



(株)関西マツダ 環境活動計画の取組結果と評価 (6)

⑨太陽光パネルの発電状況

太陽光パネルの発電により2016年度は合計58,893kg-CO₂の
 二酸化炭素排出量を削減した※
 樹齢80年の杉の木4,206本が1年間で吸収する二酸化炭素量に相当

※排出係数=0.514kg-Co₂で計算

泉佐野店太陽光パネル…2013年7月設置

2016年度	期間	発電量
4月	3月18日 ~ 4月19日	2,886 kwh
5月	4月20日 ~ 5月22日	3,247 kwh
6月	5月23日 ~ 6月19日	2,475 kwh
7月	6月20日 ~ 7月20日	2,797 kwh
8月	7月21日 ~ 8月22日	3,550 kwh
9月	8月23日 ~ 9月20日	2,187 kwh
10月	9月21日 ~ 10月20日	1,761 kwh
11月	10月21日 ~ 11月20日	1,592 kwh
12月	11月21日 ~ 12月19日	1,071 kwh
1月	12月20日 ~ 1月22日	1,346 kwh
2月	1月23日 ~ 2月19日	1,397 kwh
3月	2月20日 ~ 3月20日	2,211 kwh
	合計	26,520 kwh



PHOTO: 泉佐野店

東大阪店太陽光パネル…2013年12月設置

2016年度	期間	発電量
4月	4月13日 ~ 5月15日	4,204 kwh
5月	5月16日 ~ 6月12日	3,691 kwh
6月	6月13日 ~ 7月12日	3,172 kwh
7月	7月13日 ~ 8月11日	3,821 kwh
8月	8月12日 ~ 9月10日	3,784 kwh
9月	9月13日 ~ 10月13日	2,363 kwh
10月	10月14日 ~ 11月13日	2,941 kwh
11月	11月14日 ~ 12月12日	1,997 kwh
12月	12月13日 ~ 1月15日	2,390 kwh
1月	1月16日 ~ 2月12日	2,222 kwh
2月	2月13日 ~ 3月12日	2,912 kwh
3月	3月13日 ~ 4月12日	3,382 kwh
	合計	36,879 kwh



PHOTO: 東大阪店

枚方店太陽光パネル…2014年7月設置

2016年度	期間	発電量
4月	3月4日 ~ 4月5日	5,064 kwh
5月	4月6日 ~ 5月8日	6,132 kwh
6月	5月9日 ~ 6月5日	5,757 kwh
7月	6月6日 ~ 7月5日	5,178 kwh
8月	7月6日 ~ 8月3日	5,341 kwh
9月	8月4日 ~ 9月5日	6,390 kwh
10月	9月6日 ~ 10月5日	3,408 kwh
11月	10月6日 ~ 11月6日	3,876 kwh
12月	11月7日 ~ 12月5日	2,332 kwh
1月	12月6日 ~ 1月6日	2,228 kwh
2月	1月7日 ~ 2月5日	2,242 kwh
3月	2月6日 ~ 3月5日	3,231 kwh
	合計	51,179 kwh



PHOTO: 枚方店

※2016年度の3設備合計の発電量は114,578kwh。

10. フロン排出抑制法の対応

①7.5kw未満の業務用エアコンの簡易点検の実施(3ヶ月/1回)



【2016年度実施状況】



- 2016年4月実施済み
- 2016年7月実施済み
- 2016年10月実施済み
- 2017年1月実施済み
- 2017年4月実施済み

②7.5kw以上の50kw未満の業務用エアコンは業者による定期点検の実施(3年/1回)

機種	圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
エアコン・空調機器	7.5kw以上50kw未満	3年に1回
	50kw以上	1年に1回

定期点検

定期点検は一定規模以上の大型の業務用冷凍空調機器が対象です



2016年10月実施済み

※次回は2019年9月実施予定

(株)関西マツダ 環境関連法規等のとりまとめ

1.環境関連法規

環境関連法規	要求事項	確認
下水道法	特定施設設置届出	○
水質汚濁防止法	特定施設設置届出	○
浄化槽法	設置届出と定期検査	○
騒音規制法	特定施設設置届出	○
振動規制法	特定施設設置届出	○
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物の適正処理	○
自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	使用済自動車の適正処理	○
グリーン購入法	環境負荷の少ない商品の購入促進	○
消防法	少量危険物の届出、設備の設置	○
省エネ法 (エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部を改正する法律)	定期報告書、中長期計画書等の提出 エネルギー管理統括者等の選任	○
温対法 (地球温暖化対策の推進に関する法律)	温室効果ガスの排出量の算定、府への報告	○
PRTR法 (特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府化学物質管理制度	特定化学物質の排出量/移動量の把握	○
大阪府生活環境の保全等に関する条例	環境保全に関する届出等	○
大阪府温暖化の防止等に関する条例	対策計画書、実績報告書の府への届出	○
労働安全衛生法	作業安全の確保 定期健診(特殊健康診断) 化学物質のリスクアセスメントの実施	○
PCB特別措置法	適切な保管と届出	○
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに 生活環境の清潔保持に関する条例	廃棄物の減量推進と適正な処理	○
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検の実施と記録の保管	○

主な環境関連法規等の遵守確認を行ったが、いずれも遵守させており特筆すべき事項はなかった。

詳細は、店舗ごとに別表でまとめている。

2.違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けていない。

また、同時に訴訟の発生もなかった。

(株)関西マツダ 代表者による全体の評価と見直し結果表

- ・今後も環境改善活動を継続し、マツダグループにおいてコンプライアンス領域NO1取組みを実現し社会の模範になる行動を率先、ブランド価値経営を推進する
- ・2017年度は松原店、池田店の全面建替えにより省エネ空調機器および照明機器を導入していく
その他、老朽化した設備を中心に省エネ設備の導入を積極的に行う
- ・2013年度の環境負荷数値を基準年度とし目標を掲げ活動してきたが、店舗の統廃合や省エネ設備の導入によりある程度の環境負荷数値の低減が実現しているため、2017年度は「2017年度修正計画」をあらたに設定し活動に取り組む。
※2017年度修正計画＝2016年度環境負荷数値×99%